

英語 科 1 年 英語コミュニケーション I 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	対象	スポーツ	コース	単位数	3 単位
教科書	Power On English Communication I		出版社		東京書籍	
副教材	Power On English Communication I WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Essential] transfer 英語総合問題演習 A					

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 Unit 1 Japan's New Tourism Unit 2 Light from Creatures <1 学期中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○			12
	Unit 3 Routes to the Top <1 学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞，不定詞，S＋V＋O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○			
	Unit 4 Left to Right, Right?	<ul style="list-style-type: none"> 後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を 	○			

	<p>Unit 5 Banana Paper</p> <p><2 学期中間考査></p>	<p>基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，日本のマンガやその形式について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，日本のマンガやその形式について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to不定詞などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○	○	○	12
	<p>Unit 6 Patterns in Human Behavior</p>	<ul style="list-style-type: none"> It+be動詞+形容詞+that節，S+V [be動詞以外+C]，S+V+O+C [形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 果について，It+be動詞+形容詞+that節，S+V [be動詞以外+C]，S+V+O+C [形容詞]などの理解を元に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○	○	○	
	<p>Unit 7 No Plastic or No Future</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where，関係副詞 when，関係代名詞 whatを用いた文の形・意味・用法を理解できる。 プラスチックごみによる海洋汚染について，動詞の関係副詞 where，関係副詞 when，関係代名詞 whatなどの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○	○	○	

	<p><2 学期期末考査></p> <p>Unit 8 Oh My Cod!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみによる海洋汚染について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O₁+O₂ [if などの節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 ・e スポーツの現状、利点や欠点について、S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O₁+O₂ [if などの節] などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、e スポーツやe スポーツの利点について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○	○	○	21
	<p>Unit 9 Is E-sports a Real Sport?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツの現状、利点や欠点について、S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O₁+O₂ [if などの節] などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、e スポーツやe スポーツの利点について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 ・e スポーツの現状、利点や欠点について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、e スポーツやe スポーツの利点について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○	○	○	14
	<p><学年末考査></p>					

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 英語コミュニケーション I 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	対象	進学 コース	単位数	3 単位
教科書	Power On English Communication I		出版社	東京書籍	
副教材	Power On English Communication I WORKBOOK WORDBOX 英単語・熟語 [Essential] transfer 英語総合問題演習 A				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
	予習復習体験学習 Unit 1 Japan's New Tourism Unit 2 Light from Creatures <1 学期中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○			12
	Unit 3 Routes to the Top <1 学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞，不定詞，S＋V＋O [that 節] を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	○			
	Unit 4 Left to Right, Right?	<ul style="list-style-type: none"> 後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を 	○			

	<p>Unit 5 Banana Paper</p> <p><2 学期中間考査></p> <p>Unit 6 Patterns in Human Behavior</p> <p>Unit 7 No Plastic or No Future</p>	<p>基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，日本のマンガやその形式について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，日本のマンガやその形式について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S+seem+to不定詞などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 It+be動詞+形容詞+that節，S+V [be動詞以外+C]，S+V+O+C [形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 果について，It+be動詞+形容詞+that節，S+V [be動詞以外+C]，S+V+O+C [形容詞]などの理解を元に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 関係副詞 where，関係副詞 when，関係代名詞 what を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 プラスチックごみによる海洋汚染について，動詞の関係副詞 where，関係副詞 when，関係代名詞 what などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>12</p>
--	--	---	--	---	---	-----------

英語 科 1 年 英語コミュニケーション I 年間授業計画 (シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	対象	特進 コース	単位数	4 単位
教科書	ENRICH LEARNING English Communication I 出版社 東京書籍				
副教材	ENRICH LEARNING English Communication I 本文学習ノート ENRICH LEARNING English Communication I WORKBOOK システム英単語[5訂版] transfer 英語総合問題演習 A transfer 英語総合問題演習 B				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数	
			a	b	c		
4	予習復習体験学習 Unit 1 What can happen in one second?	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 受け身，不定詞，動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 疑問詞やつなぎ言葉について，プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解できる。 疑問詞やつなぎ言葉などを用いて，身のまわりや世界で起きている話題について，聞き手へ問いかけたり，理由や根拠を示すなどしたりしながら，自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。 情報伝達型プレゼンテーションの場面で，身のまわりや世界で起きている話題について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，情報や自分の考えなどを，聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。 	○			20	
5	Unit 2 What do superstitions mean to you? < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞＋受け身，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 条件節と帰結節を用いて，要点を書いたり，具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解できる。 条件節と帰結節などを用いて，迷信や信念について，読み手が誰であることを意識しながら，要点を書いたり，具体例を提示したりすることができる。 ラッキーアイテムを紹介するために，身のまわりの迷信や信念について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，読み手を意識して要点や具体例を書くことができる。 	○		○		
6	Unit 3 How can we promote sustainability?	<ul style="list-style-type: none"> 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 フォーマルな文体で E メールを書き，目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解できる。 	○				
7	< 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）などを用いて，フォーマルな文体で，目的を伝えたり質問をしたりすることができる。 	○				25
8		<ul style="list-style-type: none"> フォーマルな E メールを書く場面で，環境保全に関する内容について，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書くことができる。 		○	○		
9	Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の受け身，過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 事実と意見を分けたり，ポイントを絞って伝えたりといった，スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解できる。 	○		○		

10	<p>Unit 5 Why do people tell each other stories?</p>	<p>・身のまわりの言葉や文化に関する話題について、事実や意見を分けたり、ポイントを絞ったりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</p> <p>・スピーチの場で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えることができる。</p>	○			
	<p>< 2 学期中間考査 ></p>	<p>・SVOC [分詞] , 関係副詞 how, 助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</p> <p>・体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解できる。</p> <p>・体験談を伝える際の表現や方法を用いて、身のまわりの出来事について、聞き手を引き付けながら、わかりやすく伝えるなどし、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</p> <p>・スピーチの場で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。</p>	○	○	○	25
11	<p>Unit 6 What are the qualities of a good leader?</p>	<p>・分詞構文, 関係副詞 where [when / why]を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</p> <p>・リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解できる。</p>	○	○	○	
12	<p>< 2 学期期末考査 ></p>	<p>・ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書くことができる。</p> <p>・ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりし、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書くことができる。</p>	○	○	○	30
1	<p>Unit 7 Where will you live in the future?</p>	<p>・原形不定詞, 仮定法過去完了, 過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</p> <p>・場所に関連した語いや表現を用いるなどして、将来住みたい場所についてのエッセイを書く、適切な方法を理解できる。</p> <p>・将来住みたい場所についてのエッセイを書くにあたり、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりしながら、首尾一貫性のある原稿を書くことができる。</p> <p>・将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりし、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書くことができる。</p>	○	○	○	
2	<p>Unit 8 How do cultures and traditions affect teens'</p>	<p>・関係代名詞 what, 関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。</p>	○			

	lives?	<ul style="list-style-type: none"> • 外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝える適切な表現や方法を理解できる。 • 外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、プレゼンテーションの場面でその概要を伝えることができる。 • メモを活用して、プレゼンテーションを行うことができる。 • プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えることができる。 	○				
3	<学年末考查>			○		○	25

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	論理・表現 I	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I 学習サポートブック FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Mastery】 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 0 Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 	○	○	○	6
5	Unit 1 Smart home, smart city < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。 	○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> 魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。 	○	○	○	
7	Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 	○	○	○	
8		<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。 	○	○	○	
9	< 1 学期期末考査 >					
	Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報について説明することができる。 問題に対処するための道具を紹介することができる。 購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。 	○	○	○	12
10	Unit 5 Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。 フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。 	○	○	○	
	< 2 学期中間考査 >					
11	Unit 6 How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。 生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くこと 	○	○	○	
			○	○	○	8

		ができる。				
12	Unit 7 How many clothes do you buy?	<ul style="list-style-type: none"> 贈るための商品を相談しながら決めることができる。 プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。 企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
1	Unit 8 How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。 図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。 フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	< 2 学期期末考査 > Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	15
3	Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> 相手の要望に合った提案をすることができる。 旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10
	< 学年末考査 >					

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画 (シラバス)					
科目名	論理・表現 I	対象	進学	コース	単位数 2 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店				
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I 学習サポートブック FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Mastery】 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION				

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的话题や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%, 思考・判断・表現 35%, 主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 0 Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 	○	○	○	6
5	Unit 1 Smart home, smart city < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。 	○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> 魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。 	○	○	○	
7	Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 	○	○	○	
8		<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。 	○	○	○	
9	< 1 学期期末考査 >					
10	Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報について説明することができる。 問題に対処するための道具を紹介することができる。 購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。 	○	○	○	12
	Unit 5 Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。 フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。 	○	○	○	
	< 2 学期中間考査 >					
11	Unit 6 How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。 生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くこと 	○	○	○	
			○	○	○	8

		ができる。				
12	Unit 7 How many clothes do you buy?	<ul style="list-style-type: none"> 贈るための商品を相談しながら決めることができる。 プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。 企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
1	Unit 8 How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。 図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。 フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	< 2 学期期末考査 > Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	15
3	Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> 相手の要望に合った提案をすることができる。 旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10
	< 学年末考査 >					

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語 科 1 年 論理・表現 I 年間授業計画 (シラバス)

科目名	論理・表現 I	対象	特進	コース	単位数	3 単位
教科書	FACTBOOK English Logic and Expression I 出版社 桐原書店					
副教材	FACTBOOK English Logic and Expression I 学習サポートブック FACTBOOK English Logic and Expression I Workbook 【Mastery】 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION					

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	定期考査 学力テスト 単元テスト 小テスト レポート 授業観察など	学習課題 ワークシート レポート ノート 授業観察など

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 知識・技能 35%、思考・判断・表現 35%、主体的に学習に取り組む態度 30%

3 学習計画

※評価の観点：a（知識・技能）、b（思考・判断・表現）、c（主体的に学習に取り組む態度）

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	評価の観点			時間数
			a	b	c	
4	予習復習体験学習 Unit 0 Get to know more about your classmates	<ul style="list-style-type: none"> 予習復習の体験学習をする。 相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 	○	○	○	15
5	Unit 1 Smart home, smart city < 1 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決めることができる。 情報を共有し、自分たちの町に役立つか話し合うことができる。 展示会についての感想をブログの日記に書くことができる。 	○	○	○	
6	Unit 2 History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> 魅力を紹介し、相手に関心を持たせて誘うことができる。 通りを見ながら町並みの変化について説明することができる。 移住体験ツアーをすすめるウェブの広告文を書くことができる。 	○	○	○	
7	Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明することができる。 店員に要望を伝え、購入する商品を決めることができる。 	○	○	○	19
8	< 1 学期期末考査 >	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高めるパンフレットの文章を書くことができる。 	○	○	○	
9	Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報について説明することができる。 問題に対処するための道具を紹介することができる。 購入の寄付を募るためのポスターを書くことができる。 	○	○	○	
10	Unit 5 Save food you can still eat! < 2 学期中間考査 >	<ul style="list-style-type: none"> お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認することができる。 フードバンク団体を支援する手紙を書くことができる。 	○	○	○	19
11	Unit 6 How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 相手からの悩み相談にアドバイスをすることができる。 生活習慣についての意見をウェブの掲示板に書くこと 	○	○	○	

		ができる。				
12	Unit 7 How many clothes do you buy?	<ul style="list-style-type: none"> 贈るための商品を相談しながら決めることができる。 プレゼントへの感謝の気持ちを伝えることができる。 企業の講演に感想やお礼のメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	23
1	<2学期期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Unit 8 How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> 図表を見ながらパンフレットの内容を説明することができる。 フェアトレード商品のよさをブログで発信することができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2	Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 お互いの希望を伝え合い参加プログラムを決めることができる。 事前の問い合わせで疑問点を尋ねるメールを書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	<ul style="list-style-type: none"> 相手の要望に合った提案をすることができる。 旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。 外国人観光客に役立つパンフレットの文章を書くことができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	<学年末考査>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19

※学習状況により、進捗・内容を変更することがあります。

英語科 2年		コミュニケーション英語Ⅱ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	対象	スポーツ	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On English Communication II		出版社	東京書籍	
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK (東京書籍) Transfer B (桐原書店)				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
②情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末にまとめます。
評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習 Lesson 1 Take a Shot or Not	写真を撮ることが記憶に与える影響について理解する。 写真を撮ることが記憶に与える影響の説明に用いられる語句や文法事項 (It is[was] + 形容詞[名詞] + that 節/関係代名詞 what / 現在完了進行形) を身につける。	2 1 3
5月	Lesson 2 Ethical Fashion	自分にとって重要なこととその理由を述べる表現の使い方を理解する。 エシカルファッション製品について理解する。 エシカルファッション製品の説明に用いられる語句や文法事項 (助動詞+受け身 / 強調構文 / S+V+O [= 疑問詞+to 不定詞]) を身につける。	1 3
6月	Lesson 3 Landfill Harmonic	1 学期中間考査 Lesson 1, Lesson 2 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちについて理解する。 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちの説明に用いられる語句や文法事項 (関係副詞 where / 過去完了形 / S+V [=使役動詞] +O	1 3

7月	Lesson 4 Icons of Scotland	+C[=原形不定詞) を身につける。 自分がだれかに手伝ってもらおうとしていることを述べる表現の使い方を理解する。 スコットランドの地理や文化, 日本との関連を理解する。 スコットランドの地理や文化, 日本との関連の説明に用いられる語句や文法事項 (関係代名詞の非制限用法 / S + V [=知覚動詞] + O + C[=現在分詞] / S + appear(s) [seem(s)] + to 不定詞) を身につける。 1 学期期末考査 Lesson 3, Lesson 4	1 3
9月	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能を理解する。 海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能の説明に用いられる語句や文法事項 (分詞構文 (過去分詞) / 倍数表現 / 直前の文の内容を先行詞とする which / 形式目的語 it [=to 不定詞]) を身につける。	1 3
10月	Lesson 6 Vegetable Factories	野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点についての説明に用いられる語句や文法事項 (進行形の受け身 / It appears [seems] + that 節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節) を身につける。 2 学期中間考査 Lesson 5, Lesson 6	1 3
11月	Lesson 7 The Power of Color	色の視覚的効果と心理的効果について理解する。 色の視覚的効果と心理的効果についての説明に用いられる語句や文法事項 (同格を表す接続詞 that / 前置詞 + 関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 / propose など + that + S + V [=動詞の原形]) を身につける。	1 3
12月	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	平野美宇選手と伊藤美誠選手について理解する。 平野美宇選手と伊藤美誠選手についての説明に用いられる語句や文法事項 (付帯状況を表す with / while [when] (+S+be 動詞) / to+have+過去分詞 / 助動詞+have+過去分詞) を身につける。 2 学期期末考査 Lesson 7, Lesson 8	1 3
1月	Lesson 9 From Owning to Sharing	シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかについて理解する。 シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかの説明に用いられる語句や文法事項 (強調表現 (助動詞による強調) / It is[was] said+that 節 / 形式目的語 it[=that 節] / 過去完了進行形) を身につける。	1 3
2月	Lesson 10 Solar Cooking	ソーラークッカーのメリットや活用例についての説明に用いられる語句や文法事項 (be 動詞 + to 不定詞 / wish + 仮定法過去 / 関係副詞 where の非制限用法 / 関係副詞 when の非制限用法) を身につける。	
3月		3 学期期末考査	

英語科 2年		コミュニケーション英語Ⅱ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	対象	進学文系	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On English Communication II		出版社	東京書籍	
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK (東京書籍) Transfer B (桐原書店) ALL EARS BASIC (美誠社) Jet Reading Level 2 (数研出版)				

1 学習の到達目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

② 成績評価の方法

- ① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習 Lesson 1 Take a Shot or Not	写真を撮ることが記憶に与える影響について理解する。	2 1 3
5月	Lesson 2 Ethical Fashion	写真を撮ることが記憶に与える影響の説明に用いられる語句や文法事項 (It is[was] + 形容詞[名詞] + that 節/関係代名詞 what/ 現在完了進行形) を身につける。 自分にとって重要なこととその理由を述べる表現の使い方を理解する。 エシカルファッション製品について理解する。 エシカルファッション製品の説明に用いられる語句や文法事項 (助動詞+受け身 / 強調構文 / S+V+O [= 疑問詞+to 不定詞]) を身につける。	1 3
6月	Lesson 3 Landfill Harmonic	1 学期中間考査 Lesson 1, Lesson 2 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちについて理解する。 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウ	1 3

7月	Lesson 4 Icons of Scotland	<p>ラの子供たちの説明に用いられる語句や文法事項（関係副詞 where / 過去完了形 / S+V [=使役動詞] +O +C[=原形不定詞]）を身につける。</p> <p>自分がだれかに手伝ってもらおうとしていることを述べる表現の使い方を理解する。</p> <p>スコットランドの地理や文化，日本との関連を理解する。</p> <p>スコットランドの地理や文化，日本との関連の説明に用いられる語句や文法事項（関係代名詞の非制限用法 / S + V [=知覚動詞] + O + C[=現在分詞] / S + appear(s) [seem(s)] + to 不定詞）を身につける。</p> <p>1学期期末考査 Lesson 3, Lesson 4</p>	1 3 1 3
9月	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	<p>海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能を理解する。</p> <p>海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能の説明に用いられる語句や文法事項（分詞構文（過去分詞） / 倍数表現 / 直前の文の内容を先行詞とする which / 形式目的語 it [=to 不定詞]）を身につける。</p> <p>野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点についての説明に用いられる語句や文法事項（進行形の受け身 / It appears [seems] + that 節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節）を身につける。</p> <p>2学期中間考査 Lesson 5, Lesson 6</p>	1 3 1 3
10月	Lesson 6 Vegetable Factories	<p>色の視覚的効果と心理的効果について理解する。</p> <p>色の視覚的効果と心理的効果についての説明に用いられる語句や文法事項（同格を表す接続詞 that / 前置詞 + 関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 / propose など + that + S + V [=動詞の原形]）を身につける。</p>	1 3
11月	Lesson 7 The Power of Color	<p>平野美宇選手と伊藤美誠選手について理解する。</p> <p>平野美宇選手と伊藤美誠選手についての説明に用いられる語句や文法事項（付帯状況を表す with / while [when] (+S+be 動詞) / to+have+過去分詞 / 助動詞+have+過去分詞）を身につける。</p> <p>2学期期末考査 Lesson 7, Lesson 8</p>	1 3 1 3
12月	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	<p>シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかについて理解する。</p> <p>シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかの説明に用いられる語句や文法事項（強調表現（助動詞による強調） / It is[was] said + that 節 / 形式目的語 it [=that 節] / 過去完了進行形）を身につける。</p>	1 3
1月	Lesson 9 From Owning to Sharing	<p>ソーラークッカーのメリットや活用例についての説明に用いられる語句や文法事項（be 動詞 + to 不定詞 / wish + 仮定法過去 / 関係副詞 where の非制限用法 / 関係副詞 when の非制限用法）を身につける。</p>	1 3
2月	Lesson 10 Solar Cooking	<p>3学期期末考査</p>	
3月			

英語科 2年		コミュニケーション英語Ⅱ		年間授業計画 (シラバス)		
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	対象	進学理系	コース	単位数	3 単位
教科書	Power On English Communication II		出版社	東京書籍		
副教材	Power On English Communication II WORKBOOK (東京書籍) Transfer B (桐原書店) ALL EARS BASIC (美誠社) Jet Reading Level 2 (数研出版)					

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
②情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習 Lesson 1 Take a Shot or Not	写真を撮ることが記憶に与える影響について理解する。	2 1 3
5月	Lesson 2 Ethical Fashion	写真を撮ることが記憶に与える影響の説明に用いられる語句や文法事項 (It is[was] +形容詞[名詞] + that 節/関係代名詞 what/ 現在完了進行形) を身につける。 自分にとって重要なこととその理由を述べる表現の使い方を理解する。 エシカルファッション製品について理解する。 エシカルファッション製品の説明に用いられる語句や文法事項 (助動詞+受け身 / 強調構文 / S+V+O [=疑問詞+to 不定詞]) を身につける。	1 3
6月	Lesson 3 Landfill Harmonic	1 学期中間考査 Lesson 1, Lesson 2 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子供たちについて理解する。 ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウ	1 3

7月	Lesson 4 Icons of Scotland	<p>ラの子供たちの説明に用いられる語句や文法事項（関係副詞 where / 過去完了形 / S+V [=使役動詞] +O +C[=原形不定詞]）を身につける。</p> <p>自分がだれかに手伝ってもらおうとしていることを述べる表現の使い方を理解する。</p> <p>スコットランドの地理や文化，日本との関連を理解する。</p> <p>スコットランドの地理や文化，日本との関連の説明に用いられる語句や文法事項（関係代名詞の非制限用法 / S + V [=知覚動詞] + O + C[=現在分詞] / S + appear(s) [seem(s)] + to 不定詞）を身につける。</p> <p>1 学期期末考査 Lesson 3, Lesson 4</p>	1 3 1 3
9月	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	<p>海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能を理解する。</p> <p>海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能の説明に用いられる語句や文法事項（分詞構文（過去分詞） / 倍数表現 / 直前の文の内容を先行詞とする which / 形式目的語 it [=to 不定詞]）を身につける。</p>	1 3
10月	Lesson 6 Vegetable Factories	<p>野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点についての説明に用いられる語句や文法事項（進行形の受け身 / It appears [seems] + that 節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節）を身につける。</p> <p>2 学期中間考査 Lesson 5, Lesson 6</p>	1 3
11月	Lesson 7 The Power of Color	<p>色の視覚的効果と心理的効果について理解する。</p> <p>色の視覚的効果と心理的効果についての説明に用いられる語句や文法事項（同格を表す接続詞 that / 前置詞 + 関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 / propose など + that + S + V [=動詞の原形]）を身につける。</p>	1 3
12月	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	<p>平野美宇選手と伊藤美誠選手について理解する。</p> <p>平野美宇選手と伊藤美誠選手についての説明に用いられる語句や文法事項（付帯状況を表す with / while [when] (+S+be 動詞) / to + have + 過去分詞 / 助動詞 + have + 過去分詞）を身につける。</p> <p>2 学期期末考査 Lesson 7, Lesson 8</p>	1 3
1月	Lesson 9 From Owning to Sharing	<p>シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかについて理解する。</p> <p>シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかの説明に用いられる語句や文法事項（強調表現（助動詞による強調） / It is[was] said + that 節 / 形式目的語 it [=that 節] / 過去完了進行形）を身につける。</p>	1 3
2月	Lesson 10 Solar Cooking	<p>ソーラークッカーのメリットや活用例についての説明に用いられる語句や文法事項（be 動詞 + to 不定詞 / wish + 仮定法過去 / 関係副詞 where の非制限用法 / 関係副詞 when の非制限用法）を身につける。</p>	1 3
3月		3 学期末考査	

英語科 2年		コミュニケーション英語Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	対象	特進	コース	単位数 4 単位
教科書	Prominence English CommunicationⅡ		出版社	東京書籍	
副教材	Prominence English CommunicationⅡ WORKBOOK STANDARD（東京書籍） Transfer C, D（桐原書店）				

1 学習の到達目標

①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
②情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	●英文の構造と文章の構造を理解する。	2
5月	Lesson 1 The Power of Empathy	多様な価値観や文化的背景を持った他者と関係を築くために大切な共感力について学び、コミュニケーションにおける共感力の働きについて考える。	1 2
6月	Lesson 2 Come and Visit the Park in the Sky!	廃線を再利用して建設された空中公園（ハイライン）について学び、反対運動があったにもかかわらず、市民の協力や賛同を得て、困難を乗り越え、完成に至った過程について理解する。	1 3
	Lesson 3 A Window to Ancient Earth	1学期中間考査 田邊氏の生き方や、彼女が研究対象としている南極大陸の湖の生態系について知り、古代の地球生命との関係について学ぶ。	1 2
	Lesson 4	国際的に人気が高まっている日本の盆栽について学	1 2

	<i>Bonsai Goes Global</i>	び、盆栽の国際化、多様化について理解する。 1学期期末考査	
7月			
9月	Lesson 5 Taking the Sting Out of Jellyfish	クラゲの生態と人間との関係性について理解し、クラゲに対して知識と親近感を深める。	1 3
10月	Lesson 6 Does It Spark Joy?	近藤麻理恵氏の片づけの原則や方法を理解し、彼女の著書が世界的なベストセラーとなった理由を考える。	1 3
11月	Lesson 7 Malala's Fight for Education	2学期中間考査 マララ・ユスフザイさんの2014年ノーベル平和賞受賞スピーチから、マララさんの信念や闘いについて知り、教育の拡充や貧困など世界の問題について考える。	1 3
	Lesson 8 Welcome to the World of Tove Jansson	『ムーミン』の作者であるトーベ・ヤンソンの生きた時代背景を理解し、作品に込められたメッセージを登場人物の言動から考える。 2学期期末考査	1 2
12月			
1月	Lesson 9 A Country of Poles and Signs	電柱やさまざまな看板、標識が立ち並ぶ日本の景観について賛否両論の意見を知り、都市の望ましい環境について主体的に考える。	1 3
2月			
	Lesson 10 How to Use "If"	私たちの想像力を駆り立て、思考や感情にまで大きな力をもたらすifの使用について、具体例を通して知り、自らifを使った文を作成して独自の世界を作り出せるようになることを目指す。	1 2
3月		3学期期末考査	2

英語科 2年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	スポーツ	コース	単位数 2 単位
教科書	My Way English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	My Way English Expression II WORKBOOK				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
 ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Unit 1 Lesson 1 Lesson 2 Review Exercise 1 Lesson 3 Lesson 4	・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・would, used toなどの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	16
6月	Lesson 5 Review Exercise 2	1 学期中間考査 ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケー	

7月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<p>ションを図ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
9月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<p>1 学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	
10月	Unit 3 Lesson 11 Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<p>2 学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・if を用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
11月	Unit 4 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16

3月	Lesson 20	<p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>3学期末考査</p>	
----	-----------	--	--

英語科 2年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学文系	コース	単位数 2 単位
教科書	My Way English Expression II			出版社	三省堂
副教材	My Way English Expression II WORKBOOK（三省堂）				

1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞 ／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Unit 1 Lesson 1 Lesson 2 Review Exercise 1 Lesson 3 Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
6月	Lesson 5 Review Exercise 2	1 学期中間考査 <ul style="list-style-type: none"> ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケー 	

7月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<p>ションを図ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
9月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<p>1学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	
10月	Unit 3 Lesson 11 Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<p>2学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
11月	Unit 4 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<p>2学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16

3月	Lesson 20	<p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>3学期末考査</p>	
----	-----------	--	--

英語科 2年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）		
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学理系	コース	単位数	2 単位
教科書	My Way English Expression II			出版社	三省堂	
副教材	My Way English Expression II WORKBOOK（三省堂）					

1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞 ／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Unit 1 Lesson 1 Lesson 2 Review Exercise 1 Lesson 3 Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
6月	Lesson 5 Review Exercise 2	<p>1 学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケー 	

7月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<p>ションを図ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
9月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<p>1学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	
10月	Unit 3 Lesson 11 Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<p>2学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
11月	Unit 4 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16

3月	Lesson 20	<p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>3学期末考査</p>	
----	-----------	--	--

英語科 2年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）		
科目名	英語表現Ⅱ	対象	特進	コース	単位数	2 単位
教科書	My Way English Expression II			出版社	三省堂	
副教材	My Way English Expression II WORKBOOK（三省堂）					

1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞 ／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Unit 1 Lesson 1 Lesson 2 Review Exercise 1 Lesson 3 Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
6月	Lesson 5 Review Exercise 2	1 学期中間考査 <ul style="list-style-type: none"> ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケー 	

7月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<p>ションを図ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
9月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<p>1学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	
10月	Unit 3 Lesson 11 Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<p>2学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
11月	Unit 4 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16

3月	Lesson 20	・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 3学期末考査	
----	-----------	---	--

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	スポーツ	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On Communication III		出版社	東京書籍	
副教材	Power On Communication III Work Book				

1 学習の到達目標

<p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	学習の仕方を理解する。	1
5月	Lesson 1 Emoji as a Universal “Language” 絵文字	絵文字がどのように使われるようになっているかについて理解する。	8
	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? オリンピックのシンボル	オリンピックの旗の意味について理解する。	8
6月		1学期中間考査	1
	Lesson 3 Zoo Dentists 動物の歯科医	動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて理解する。	8
	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出合いの最初の4分	初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて理解する。	8
9月		1学期期末考査	1
	Lesson 5	プロサーファーである大原洋人選手について理解す	10

	<p>A Promising Surfer from Japan (プロサーファー, 大原洋人選手)</p>	<p>る。</p>	<p>10</p>
<p>10月</p>	<p>Lesson 6 Where Does Halloween Come from? ハロウィーンの起源と歴史</p>	<p>ハロウィーンの起源と歴史について知る。</p>	<p>1</p>
		<p style="text-align: right;">2学期中間考査</p>	
<p>11月</p>	<p>Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think イグ・ノーベル賞</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り, 賞の意義について考える。</p>	<p>11</p>
<p>12月</p>	<p>Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska 写真家, 松本紀生さん</p>	<p>写真家, 松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について理解する。</p>	<p>11</p>
	<p>まとめ・演習</p>	<p style="text-align: right;">2学期期末考査</p>	<p>1</p>

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	進学文系	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On Communication III		出版社	東京書籍	
副教材	Power On Communication III Work Book				

1 学習の到達目標

<p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	学習の仕方を理解する。	1
5月	Lesson 1 Emoji as a Universal “Language” 絵文字	絵文字がどのように使われるようになっているかについて理解する。	8
	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? オリンピックのシンボル	オリンピックの旗の意味について理解する。	8
6月	Lesson 3 Zoo Dentists 動物の歯科医	動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて理解する。	8
	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出合いの最初の4分	初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて理解する。	8
9月	Lesson 5	プロサーファーである大原洋人選手について理解す	10
		1学期中間考査	1
		1学期期末考査	1

	<p>A Promising Surfer from Japan (プロサーファー, 大原洋人選手)</p>	<p>る。</p>	<p>10</p>
<p>10月</p>	<p>Lesson 6 Where Does Halloween Come from? ハロウィーンの起源と歴史</p>	<p>ハロウィーンの起源と歴史について知る。</p>	<p>1</p>
		<p style="text-align: right;">2学期中間考査</p>	
<p>11月</p>	<p>Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think イグ・ノーベル賞</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り, 賞の意義について考える。</p>	<p>11</p>
<p>12月</p>	<p>Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska 写真家, 松本紀生さん</p>	<p>写真家, 松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について理解する。</p>	<p>11</p>
	<p>まとめ・演習</p>	<p style="text-align: right;">2学期期末考査</p>	<p>1</p>

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	進学理系	コース	単位数 4 単位
教科書	Power On Communication III		出版社	東京書籍	
副教材	Power On Communication III Work Book				

1 学習の到達目標

<p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	予習復習体験学習	学習の仕方を理解する。	1
5月	Lesson 1 Emoji as a Universal "Language" 絵文字	絵文字がどのように使われるようになっているかについて理解する。	8
	Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created? オリンピックのシンボル	オリンピックの旗の意味について理解する。	8
6月	Lesson 3 Zoo Dentists 動物の歯科医	動物の歯を治療する仕事はどのようなものであるかについて理解する。	8
	Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出合いの最初の4分	初対面の人と会話をする際に「最初の4分」が重要であることについて理解する。	8
9月	Lesson 5	プロサーファーである大原洋人選手について理解す	10
		1学期中間考査	1
		1学期期末考査	1

	<p>A Promising Surfer from Japan (プロサーファー, 大原洋人選手)</p>	<p>る。</p>	<p>10</p>
<p>10月</p>	<p>Lesson 6 Where Does Halloween Come from? ハロウィーンの起源と歴史</p>	<p>ハロウィーンの起源と歴史について知る。</p>	<p>1</p>
		<p style="text-align: right;">2学期中間考査</p>	
<p>11月</p>	<p>Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think イグ・ノーベル賞</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容を知り, 賞の意義について考える。</p>	<p>11</p>
<p>12月</p>	<p>Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska 写真家, 松本紀生さん</p>	<p>写真家, 松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について理解する。</p>	<p>11</p>
	<p>まとめ・演習</p>	<p style="text-align: right;">2学期期末考査</p>	<p>1</p>

英語科 3年		コミュニケーション英語Ⅲ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	対象	特進コース	単位数	4 単位
教科書	PROMINENCE Communication English III	出版社	東京書籍		
副教材	Change the World Standard（いわずな書店）、Aim High vol.1（美誠社）Transfer E（桐原書店） システム英単語（駿台文庫）				

1 学習の到達目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 ② 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につけ、社会生活において活用する。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

② 成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標		時間
		内容（場面）	取り上げる Reading Skills	
4	予習復習体験学習 1. The News: Getting It the Way You Want to	オンラインニュース配信の台頭で揺らぐ新聞業界。新聞に未来はあるか。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。	1 3
5	3. Build a Tower, Build a Team	マシュマロとパスタで塔を建てる。身近な実験から問題解決能力を考える。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 語句の推測 語の形に注目する。 1 学期中間考査	1 3
6	6. Technology as Trash	増加の一途を辿るパソコンや携帯電話などの廃棄物が途上国で起こしている深刻な環境被害を告発する。	スキミング 文章の大意を把握する。	1 3
7	7. Human BUYology	百貨店に仕掛けられた数々の罠に私たちは掛かっていた。五感と人の購買意欲の関わりとは。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。 1 学期期末考査	6

8	9. A New Way of Remembering	文字と紙の発明以降, 記憶の役割は急速に変化した。記憶が辿る未来の先には。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。 日大基礎学力到達度テスト	2
9				1 3
1 0	11. Leaving Microsoft to Change the World	世界中の子どもたちに本を届けるボランティア活動を続けるジョン・ウッド氏について知る。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。 2 学期中間考査	1 3
1 1	13. A One-Million-Dollar Lottery Ticket	100 万ドルの当たりくじを巡ってアメリカで実際に起こった裁判から, 法律について考える。	スキミング 文章の大意を把握する。 語句の推測 前後の文脈を活用する。 2 学期期末考査	1 0
1 2	16. Attitudes toward Time	世界における時間感覚の違いはどこから生まれるものなのか。世界の事例を踏まえ考察する。	スキヤニング 必要な情報を素早く見つける。 スキミング 文章の大意を把握する。	4

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	スポーツコース	単位数	2 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	英文法演習 New Frame 650（桐原書店）				

1 学習の到達目標

<p>①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>②事実や意見などを多様な観点から考察する。</p> <p>③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>
--

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	Unit 1 Lesson 1	<p>●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他</p> <p>・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>1学期中間考査</p>	2
	Lesson 2 Review Exercise 1		16
5月	Lesson 3		
	Lesson 4		
	Lesson 5 Review Exercise 2		

6月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
7月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
9月	Unit 3 Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
10月	Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
11月	Unit 4 Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表すwe, youなどを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	16
12月	Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matterを用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ 	16

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>2学期期末考査</p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学文系コース	単位数	4 単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	英文法演習 New Frame 650（桐原書店）				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
 ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

3 学習計画

月	学 習 単 元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	Unit 1 Lesson 1	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞 ／語の順序と文型／句と節／品詞他 ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 1学期中間考査	2
	Lesson 2 Review Exercise 1		24
5月	Lesson 3		
	Lesson 4		
	Lesson 5 Review Exercise 2		

6月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
7月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
9月	Unit 3 Lesson 11	<p>1 学期期末考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
10月	Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・if を用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
11月	Unit 4 Lesson 15	<p>2 学期中間考査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
12月	Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ 	24

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>2学期期末考査</p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画 4 (シラバス)		
科目名	英語表現Ⅱ	対象	進学理系コース	単位数	3	単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂		
副教材	英文法演習 New Frame 650 (桐原書店)					

1 学習の到達目標

- | |
|--|
| ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
② 事実や意見などを多様な観点から考察する。
③ 論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 |
|--|

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

① 評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査 8割 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	Unit 1 Lesson 1	● 英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Lesson 2 Review Exercise 1	・ 現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	24
	Lesson 3	・ 未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 4	・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 5 Review Exercise 2	・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
		1 学期中間考査	

6月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
7月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
9月	Unit 3 Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
10月	Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・if を用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
11月	Unit 4 Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 	24
12月	Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Review Exercise 6 Lesson 19	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニ 	24

	Lesson 20	<p>ケーションを図ろうとする。</p> <p>・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>2学期期末考査</p>	
--	-----------	--	--

英語科 3年		英語表現Ⅱ		年間授業計画（シラバス）	
科目名	英語表現Ⅱ	対象	特進コース	単位数	3単位
教科書	MY WAY English Expression II		出版社	三省堂	
副教材	2023 共通テスト対策 重要問題演習 英語リスニング（ラーズ）				
	2023 共通テスト対策 直前演習 英語リスニング 30 minutes×7（ラーズ）				

1 学習の到達目標

- ①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ②事実や意見などを多様な観点から考察する。
- ③論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2 評価の観点・趣旨・方法、成績評価の方法

①評価の観点・趣旨・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	学習活動への姿勢 ノートプリント 課題提出	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査	学習活動への姿勢 ノートプリント 定期考査

②成績評価の方法

① の評価の方法によって、学年末にまとめます。

評価の内容 定期考査8割 平常点（学習態度・小テスト・課題など）2割

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4月	Unit 1 Lesson 1	●英文の構造と文章の構造を理解する。 文をつくる品詞のいろいろ／文の中心となる動詞／語の順序と文型／句と節／品詞他	2
5月	Lesson 2 Review Exercise 1	・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	10
	Lesson 3	・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 4	・had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
	Lesson 5 Review Exercise 2	・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	6

6月	Unit 2 Lesson 6 Lesson 7	1学期中間考査 ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。	18
7月	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Review Exercise 3	・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、withを用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。	
9月	Unit 3 Lesson 11 Lesson 12 Review Exercise 4 Lesson 13 Lesson 14 Review Exercise 5 共通テスト重要問題演習	1学期期末考査 ・形容詞や副詞の比較級や最上級、asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。	18
10月	共通テスト重要問題演習 共通テスト重要直前演習	共通テストの演習を行い、時間配分や傾向の把握をする。 2学期中間考査	18
11月	共通テスト直前演習	共通テスト対策を演習を行い、時間配分や傾向の把握をする。	
12月	共通テスト直前演習	2学期期末考査	